

書評を書いてみよう!

書評は、その本をまだ読んでいない人に内容を正確に伝え、自分の意見を紹介することが目的です。読書感想文と違って、他者を意識し、内容理解や自分の意見に責任を持って書くことになります。内容の抜粋だけで自分の意見や評価がないもの、反対に自分の意見・感想だけで内容の紹介が欠けているものは書評とはいえません。あなたの視点で、その本から何が得られたのか客観的に書いてみてください。自分の問いを発展させるよい機会になると思います

書評対象図書を選び方

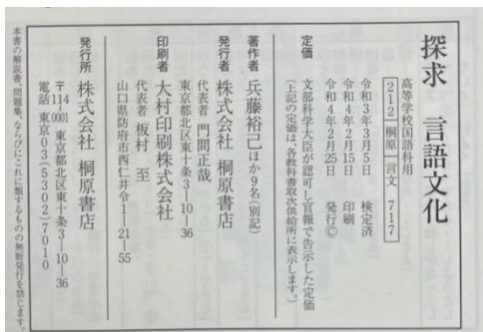
- 『現代の国語』『言語文化』に掲載されている作品や著者の別の作品などから選ぶことが望ましい。
- 高高図書館の蔵書を利用することが望ましい。

図書館蔵書検索

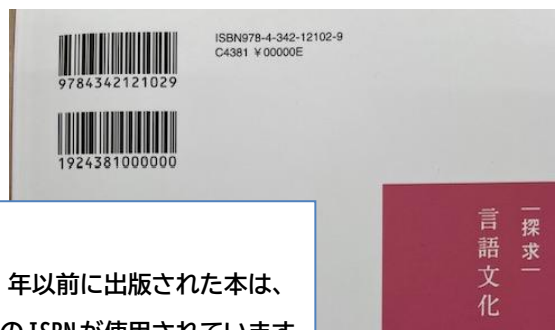


書評を書く前の準備シート

奥付



ISBN



注意

2007 年以前に出版された本は、
10桁のISBNが使用されています

1 本の情報 奥付のページに返却期日票が貼ってあり、見えない場合は、司書に相談してください。

書名	叢書名 (例 岩波新書 など)		
著者名	出版社名		
	出版年	ページ数	p
ISBN(国際標準図書番号) 本の裏表紙に記載されている13桁の番号(奥付にある場合も)			
前書き ある/ない	目次 ある/ない	後書き ある/ない	
参考文献 ある/ない	索引 ある/ない	著者紹介 ある/ない	

2 本の中で主に伝えたいことが書かれている文章や心に残った文章を探して抜き出してみましょう。

(ページ)

自由メモ

学籍番号 _____

氏名 _____

書名	著者名	出版社

タイトル (書評のキャッチコピー)	
導入 (読み手に関心を持たせる)	
著者の紹介 (経歴・実績)	
本の概要・要約 (重要な部分。学んだこと。紹介したいこと。)	
本に対する評価 (感情を動かされた部分、本から得た気づき。内容に対する自分の意見・反論)	
まとめ	

新聞、雑誌、書評サイトなどさまざまな媒体で書評が発表されていますが、盗用、剽窃は絶対に行わないでください。自分で責任を持ち、品位ある書評を書きましょう。